

③保守用車両（更新）

整備年度：平成 30 年度

施工箇所：マルチプルタイタンパ 1 台、バラストスイーパー 1 台

整備概要：しなの鉄道の線路はほぼ全線に渡り、レールと、砕石に埋め込まれたマクラギで構成されています。線路は毎日列車が通過することで、少しずつ変位（歪み）が生じます。これを放置しておくと乗り心地が悪化し、最悪脱線につながる恐れがあります。この変位を直すために、マクラギの下に砕石をつき入れる「つき固め」を行う必要があります。マルチプルタイタンパー（以下マルタイ）は、このつき固め作業を効率的に行うことができる保守用車両で、列車の乗り心地の改善と安全の維持のために必要不可欠な機械ですが、当社で保有しているマルタイは経年 24 年を迎え、耐用年数を大きく超えている上、メーカーでの部品保証期間も終了しており、故障時に対応できない状況です。

また、バラストスイーパーは、マルタイの後部に連結され、つき固め作業と同時にバラスト整理を行う機械で、マルタイでの軌道整備作業において必要不可欠ですが、経年 30 年以上で更新が必要です。

マルチプルタイタンパー及びバラストスイーパーを更新することにより、つき固め作業を効率的に行うことができ、軌道状態を正常に保つことで安全安定輸送が図れます。



写真1 マルチプルタイタンパ（現行）



写真2 バラストスイーパー（現行）